## 地名アラカルト ①

# 高野

「コウヤ」という地名が東陽地区と白浜地区にあります。「西高野」と現在白磯に含まれている「高野」がそれです。

高野とは本来「荒野」と書き開墾地を意味するものでした。しかし、荒の字に凶作の意味もありますからこんな不吉な文字よりも同じ音の高に取り変えられたものです興野幸谷という地名があったら同じ理由によるものです。

では、いつ頃この地が成立したのでしょうか。西高野には次のようないわれ話が残されています。

昔、旅の僧がこの地を訪れて一宿を求めました。しかし、湿地帯であるこの地の人々の生活は、貧しいものでしたからあっちの家、こっちの家と断られてしまいました。疲れた身を休めるだけだからと頼み込んでやっと宿ることができたのです。

翌朝、お礼にとゴザクサの使い方を教えてくれ、高野山の山号から「高野」の二字をくれました。その後、その草によって村人の生活はよくなりこの地を高野と呼ぶようになったということです。

この時の僧が弘法大師であったという。この話は、高野聖（ひじり）を連想させるもので、この地方へも聖の俳徊があったと思われます。

◇◇◇◇◇

今月号から町内の地名についてシリーズで掲載することになりました。小字名にも変ったものがありますから順次取り上げていきます。地名のいわれ等について御存じの方がありましたらお知らせください。

有線二〇二～〇三

## 税のよろず相談

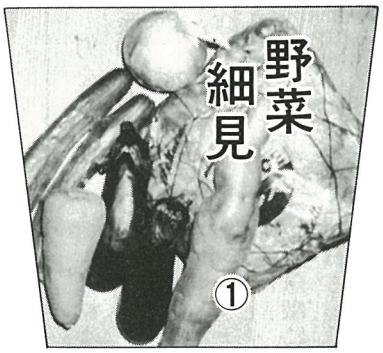
一、日　時
十一月五日（金）
午前十時～午後三時

二、場　所
光町商工会館

三、相談員
税理士　市原　貞夫

◎町内の方ならどなたでも無料で相談が受けられます。

## 野菜細見 ①



インスタント食品の時代。野菜もトマト、キュウリ、レタス、キャベツと、生で食べられるものが主流となった。調理に手間のかかる野菜は店頭から消えつつある。ズイキもその一つ。

サトイモは葉柄も食べられる。それがズイキで、皮をむき、適当に切りそろえ、水につけてあくをぬき、さらにゆでて冷水にさらす。それをみそ汁の実や煮物、酢みそあえなどにする。

皮をむいて天日で乾燥させたズイキは「いもがら」とも呼ばれる。これをもどすには、十分ほど水につけ、熱湯で約十分湯がき、あくをぬくため再び水につけて、茶色の汁がほぼ出なくなるまでさらす。それをしぼって適当に切り料理に使う。

ズイキの減少は、こうした処理のやっかいさが影響しています。ズイキには取りたてていうほど栄養価はないが、カルシウムだけは多く、乾燥ズイキで百グラム中、千二百ミリグラム含まれているそうです。

今一度「ズイキ」を見直してみてはいかがですか。

ズ　イ　キ

## おそうざいのヒント ①

# レバーと野菜のいためもの

揚げたレバーと、香りの高いピーマン、玉ねぎをいためる、コクのあるおかず。

豚レバーの薄切り三百グラムに、ショウガ汁一片半分、酒、しょうゆ各大さじ一をかけて十分ほどおき、ざるにあげて汁気をきります。玉ねぎ二百グラムをクシ形に、ピーマン五個を六つ切りにします。ニンニク一片を薄切りにし、赤トウガラシ二本のタネを出しておきます。

揚げ油を熱し、レバーにかたくり粉をつけて、からりと揚げます。油大さじ三をあたため、ニンニク、赤トウガラシを弱火でいためて香りを出します。玉ねぎ、ピーマンを加えて強火でさっといため、レバーを戻し、しょうゆ大さじ二強、ゴマ油を少々まぜます。

野菜をいためすぎないのがコツです。

（約三十分・四人前）

## 全国防犯運動

全国防犯運動が、十月十一日（月）から二十日（水）までの十日間実施されます。

今年は、「カギかけは、家族みんなの合言葉」をスローガンに、次の三項目を重点に運動を行います。

○あき巣、忍び込みなどの侵入盗の防止
○少年の非行防止
○覚せい剤の乱用防止

運動期間中は、防犯指導員など地域のみなさんと協力して、防犯診断や防犯パトロールなどの防犯活動を一層強力に推進します。